

大谷石の魅力伝える

宇都宮でフェスタ 細工・加工体験も



大谷資料館の地下採掘場跡には多くの人たちが訪れた(5日、宇都宮市で)

大谷石の産地である宇都宮市大谷地区の景観や魅力を知ってもらおうと、「フェスタ in 大谷2015」が5日、同市大谷町の大谷景観公園などで始まり、多くの家族連れらでにぎわった。6日まで。



特設ステージでは様々なイベントが行われた

公園には、宇都宮焼きそばや焼き鳥などの屋台が並び、地元市民らによる和太鼓や大道芸のパフォーマンスが特設ステージで披露された。

公園の近くにある大谷資料館内の地下採掘場跡では、普段明かりがつかない場所もライトアップして公開した。この日の採掘場跡は12度で、宇都宮市峰掛川大成君(8)と百々香ちゃん(5)兄妹は「(地下採掘場跡は)寒かったけど、

広くて神秘的だった」と話していた。

6日は午前10時～午後4時半。宇都宮市消防音楽隊の演奏やよさこいソーランの演舞などが催されるほか、大谷石の細工や加工が体験できるコーナーが設置される。

来年のポスターに
写真コンテスト

応募者募集

宇都宮市を中心とした県内でカメラ・写真専門店を展開する「サトーカメラ」(同市陽東)とフェスタ in 大谷実行委員会は、「大谷フォトコンテスト」の応募者を募っている。

コンテストにはプロ・アマを問わず応募が可能で、上位入賞の作品は、「フェスタ in 大谷2016」のポスターやチラシに採用される。

テーマは、「大谷地区の景観を表現したもので、1人3点まで。サトーカメラの店舗に郵送か持参して応募することができる。締め切りは2016年5月上旬頃まで。